

# 令和2年度タイラギの生息状況について（55点調査結果）

令和2年11月20日

佐賀県有明水産振興センター

## 1. 目的

この調査は毎年1回実施し、有明海湾奥部（干潟域を除く）におけるタイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

## 2. 調査年月日

令和2年10月22, 25～29日の6日間。

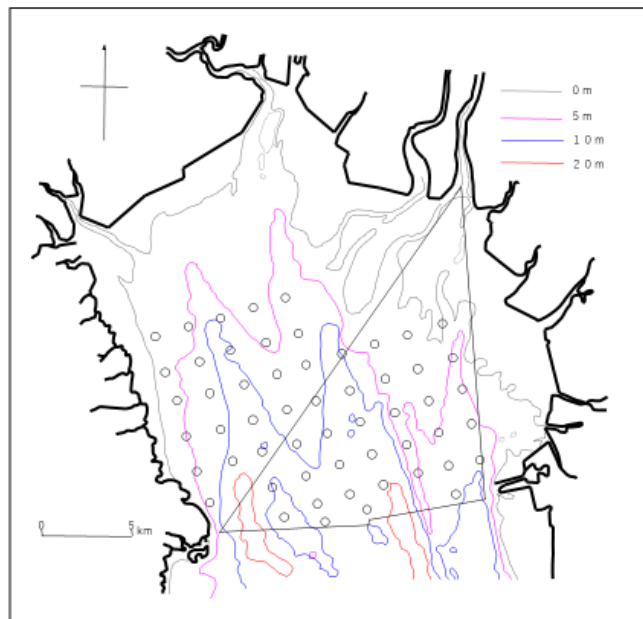
## 3. 調査方法

- ① 潜水器船で、合計55地点を調査した。
- ② 各調査地点の海底に、100mのロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1mの範囲内（100㎡）にみられた生物を採取した。
- ③ 採取した生物は、水産振興センターに持ち帰り、殻長、重量等を測定した。

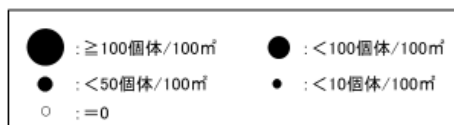
## 4. 調査結果

### ① タイラギ成員の生息状況

下図に示したとおり、成員は確認されなかった。



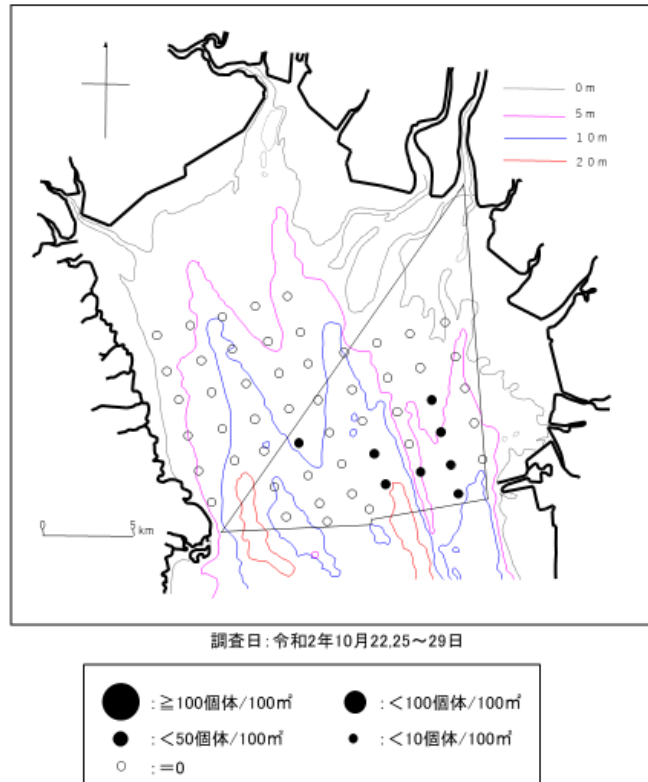
調査日：令和2年10月22, 25～29日



タイラギ成員生息密度（令和2年度55点調査）

② タイラギ稚貝の生息状況

下図に示したとおり、稚貝は55地点中8地点で確認された。100㎡当たりの採捕数は最高で7個であった。平均殻長は、66mm (50~87mm) であった。



タイラギ稚貝生息密度 (令和2年度55点調査)